

# 卒業生 丹羽公雄先生と在校生の座談会を開催しました！

【令和7年11月 14 日】

令和7年11月14日、本校卒業生で名古屋大学名誉教授の丹羽公雄先生(高校17回生)が来校し、在校生との座談会を開催しました。丹羽先生は1965年に本校



を卒業後、素粒子物理学の研究に従事し、2000年には原子よりも小さなタウニュートリノを世界で初めて検出、仁科記念賞をはじめ数々の賞を受賞された第一人者です。現在も御嵩町にお住まいで、母校への深い愛情から今回の座談会が実現しました。座談会には1



年生1名、2年生4名、3年生1名の計6名が参加し、丹羽先生は「夢を持って挑戦すること」「身近な事象に疑問を持つ探究心の大切さ」などを熱く語られました。生徒一人

ひとりの将来の夢に耳を傾け、「宇宙飛行士になりたい」「介護に関わる仕事をしたい」「3カ国語を使って世界で活躍したい」などの思いに丁寧に応答してくださいました。また、ご自身の高校時代の思い出も交えながら、在校生に向けて「好きなことをとことん追い求めてみては」というメッセージが送られました。

さらに、同行された林熙崇先生による高性能霧箱を使った宇宙線の飛跡の実演もあり、生徒たちは科学の神秘を目の当たりにしました。



今回の座談会は、生徒に興味や関心を広げ、挑戦する意欲を高める貴重な機会となりました。

【参加生徒の感想】「物理学の世界でご活躍されているお話を聞くことができ、貴重な経験になった。」「地元にお住まいで、身近に感じられる先輩のおひとりで大変心強いです。」「もっとお話しを聞く機会があればうれしいです。」